

中央公民館だより



公民館がつなぐ地域の協働活動

生涯学習課長 齋藤 勝浩

公民館は、社会教育の中核として活動を展開しているという私の認識であります。しかしながら、昨今のコロナ禍の中、講座等の開催が難しくなっている現状であり、感染防止対策や様々な工夫により何とか活動を続けているところがあります。

近年、各地域において、コミュニティ協議会が設立されてきております。一つの課題として、公民館と地域コミュニティの活動が重なっているのではないかとの声があります。そこで、本来の意義や役割を再確認したうえで、「協働」をキーワードに公民館活動を考えてみたいと思います。

公民館は社会教育法に位置付けられた地域住民のための教育機関であり、住民の教養の向上、健康増進、生活文化の向上、社会福祉の増進に寄与することを目的として、講座等の学びの場を提供することが第一義の役割であると考えます。

一方、コミュニティ協議会は、地域の将来的な課題解決を目指して、自ら組織して活動する地域づくり団体であると考えます。それでもそこには、学習と話し合いの場が必要不可欠となっております。

公民館においても学習成果を生かしていくことは、求められている大事な取り組みとなります。地域コミュニティと連携・協働することで、地域に貢献できる事業につながります。また、地域団体との連絡調整が活発化することで、人的ネットワークが広がることは公民館にとっても大きなメリットになります。地域づくりは人づくりでもあり、目指す目標は共有できるものと思います。

新たな社会の到来と地域情勢が大きく変化している中、公民館活動の手法や公民館のあり方自体についても再検討する時期ではないかと感じています。今後、時流に乗った公民館活動が展開できるように、生涯学び続ける仕組みの充実に努めてまいります。

堀之内公民館の紹介

堀之内公民館主事 横山 剛

堀之内公民館をはじめ、市内の各地区公民館では「公民館講座」を開催しています。テーマも様々であれば、参加いただける方々も様々です。多くの人と出会い、関わることでできる公民館講座へ、ぜひ参加してください。・・・と言いたいところなのですが、昨今の情勢により、人を集めて行う公民館講座は以前の様に気軽に開催、参加しにくい状況となっています。声を大にして「公民館でお会いしましょう！」と言えない事を歯痒く思う日々です。

そのような状況ではありませんが、今年度も様々な公民館講座を計画しています。小学生の子さん向けの「おもしろ実験室」や、昔の人々の暮らしや文化を知ることもできる「初心者古文書教室」。同じ趣味の方が集まり、サークル化を目指す「手芸サークル」等、多種の講座を計画しております。開催できるかどうかは今後の状況次第ではありますが、感染対策をしつかりと講じて、皆さんが安心して参

加できるように準備しております。

また、堀之内公民館の大きな特徴として、プラネタリウムがあります。昭和57年に開設して以来、今年で39年目となるベテランの設備です。月ごとに投影プログラムを変え、毎月違うお話が楽しめるようになってい

ます。しかしながら規模としては大きくなく、席数にして46席の小型のプラネタリウムです。そのため3密を避けることが難しく、投影中はドアを解放できず換気もしづらいため、昨年度は投影を行いませんでした。今年度も実施については未定ですが、プラネタリウムは多くの子どもたちが堀之内公民館へ来てくれる貴重な機会ですので、再開できるように、新型コロナウイルスの感染終息を願うばかりです。

公民館がいつもどおりの「つどい」の場となり、皆さんとお会いできることを心待ちにしています。

市ホームページ「食まちうおぬま」に和食講座「味噌・塩麴の仕込み」レシピが掲載されました

小出公民館館長 八海 昭夫

コロナ禍のため、多人数での講座開催が困難なことから、小出公民館では、学習情報のデジタル化を推進し、各種メディアの活用による情報発信に努めています。

その一環として、免疫力を高める食品を学ぶ趣旨で、和食講座「育てて楽しい発酵生活」において、「塩麴の仕込み」と「味噌の仕込み」のレシピ（調理方法）を、「食まちうおぬま」事務局（企画政策課）と連携して、市ホームページに掲載しましたので、ご利用ください。

検索方法ですが、魚沼市ホームページの最初の画面左上に「食まちうおぬま」のサイト（入口画面）がありますので、始めにそこをクリックしてください。すると、「食まちうおぬま」表紙画面が出ますので、お知らせの「育てて楽しい発酵生活」味噌と塩麴からご覧ください。

今回ご指導いただいた講師は、島影妙子さん（中島）です。島影講師からは、本年九月に開催予定の和食講座（味噌等の発酵食品を活用した料理の実演と試食会）でも、その卓越した調理技術をご披露いただく予定です。

その際には、ぬか床の作り方指導とぬか漬けの試食もあわせて計画しています。それらのレシピもホームページに掲載させていただきます。



伊米ヶ崎公民館の紹介

伊米ヶ崎公民館館長 鎌田 惣吉郎

伊米ヶ崎地区は魚沼市の南に位置し8地区で構成され、540世帯人口1300人が暮らす地域です。当館は虫野地区に開設され、近くには保育園、小学校やデイサービスなどの施設が設けられています。さらに、伊米ヶ崎地域には、地域を結ぶネットワークとして、伊米ヶ崎区長会・伊米ヶ崎共和国(コミュニティ共和国)と公民館の3つの組織が連携し合い、地域のイベントである大運動会、スポーツ大会、地域芸能祭や小学校における行事のサポートに関わる取り組みをしています。

伊米ヶ崎公民館の特色としては、談話室にて絵画、写真、水墨画などを一カ

月単位で展示しています。昨年は11回の展示会をする中で多数の皆様に参加していただきました。

二点目は史実を見たり・触れ



旧陸軍遭難80年を超えて説明会



わら細工の展示会“タス”

たり・話したりする体験活動です。過去に起こった銀山片貝沢陸軍機墜落事故調査の紹介(湯之谷公民館編集)と後世に伝える活動。さつま芋の植え付けから収穫までを小学校の児童・デイサービス利用者で行い、焼き芋大会で世代間交流を図る活動。古来より伝わる雪国の生活必需品をワラを使って作る知恵と触れる体験などを紹介してきました。

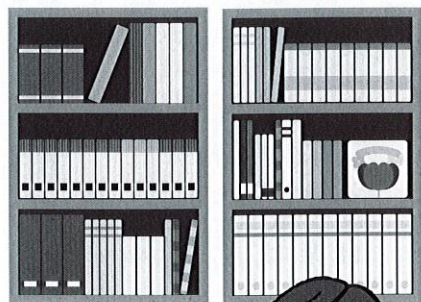
今後も講座やイベントなどを通じて、より身近に感じながら実際の絵画などを鑑賞し、史実に触れられる公民館活動を目指していきたいと思えます。

湯之谷公民館の紹介

湯之谷公民館主事 石田 彩夏

この春から湯之谷公民館に図書コーナーがオープンしました。冊数は他の図書館や図書室と比べると少ないと感じられるかもしれませんが、広くて落ち着いた雰囲気のリリーススペースも併設されていますので、本を借りるだけではなく、ゆっくりと本を読んだり、勉強したり、休憩したりしていただけます。予約していただいた本を他館から取り寄せて貸出することもできますので、ぜひご利用ください。

新型コロナウイルスの感染拡大状況が昨年よりも悪化しているというところで、現在、湯之谷公民館では、今年度に開催を予定していた講座を当面の間延期させていただいております。講座を楽しみにされている方々からの声もいただいている中、とても残念です。感染症拡大の終息の見通しが未だに立ちませんが、皆様に安心して参加し楽しんでいただける講座を今後開催したいと思います。



変化を進化へ。新しい広神公民館

広神公民館主事 窪田 雅亮

広神公民館では昨年度、体制が大きく変化したばかりですが、さらに窓口二名体制へと一名減になりました。この二名で迅速・丁寧な対応を心掛けています。お待ちいただくこともあるかもしれませんが、ご容赦ください。

そしてコロナ禍という大きな変化にも翻弄される中で、幅広い方がともに学べる公民館講座は継続していきます。人数制限や感染対策等、今までどおりとはいきませんが、老若男女問わずぜひご参加下さい。

さらに六月には新潟経営大学の公開講座オンライン受講会を開催予定です。大学内の講座会場と生中継で結んで、スクリーンに映して受講します。マスク着用の上、筆記用具のみ持参していただければ受講できます。

(予約が必要です)これを機に



昨年の講座の様子。感染対策に留意しながら行っています。



ギャラリー展示出品団体・出品者も募集しています。

自宅でも受講できることを知っていたら、人と学びを結び役割を果たせばと思っております。

変化を進化で終わらせずに、進化へ繋げていきたい。これまでの良いところは継承し、新しいことにも挑戦していく。変化の波に揉まれる中で見つけた、広神公民館のこれからの方向性です。

市民の皆さまとともに進化を続けていきたいと考えていますので、ぜひ公民館を活用いただき、また新たなアイデアなど公民館にも進化のヒントをいただければと思います。お気軽にこ来館ください。

守門公民館の紹介

守門公民館主事 平井 裕美

守門公民館が北部(旧守門)庁舎へ移転してから七年が過ぎました。おかげさまで今ではすっかり親しんでいただき、楽しくご利用いただいていると自負しております。

ご存じのとおり、守門公民館には二階に設備の整った美術展示室と明るく広々とした図書室が併設されています。

展示室は、市内の方々が日頃頑張っていること、楽しんでいくことなどを発表する場となっております。

喜んでおられます。作品展に参加希望される方は個人、団体を問わず、いつでもご相談ください。

図書室は、平日・土曜日は夜九時までご利用になります。フリースペースや読書・学習スペースもあ

り、ゆつたりと過ごすことができますのでぜひ活用ください。



図書室

は守門会館として大小六部屋が貸館となっております。コロナの影響で現在は定員制限などがありますが、ご不便をおかけしておりますが、サークル活動や会議、イベントの開催などに広く利用していただいております。

コロナ禍が収まらないまま今年度がスタートいたしました。が、昨年度中止となった講座や新規の講座を含めまして、皆様健康で楽しく過ごしていただけるような講座を計画しておりますので、大勢の方の参加をお待ちしております。



市井希作品展(4~5月開催)

読書・学習スペースや

入広瀬公民館の紹介

入広瀬公民館館長 穴沢 良一

地域の歴史や自然・文化等を学び、健康増進に関わる活動に取り組んでいます。

今年「八十里越と戊辰戦争」「上杉景勝と鷹待山」「近世の入広瀬と近隣村とのつながり」など、大きな歴史のうねりとのつながりを考えます。

エコミュージアムに出かけ自然探索を行います。

高齢者講座では、健康関連や安心安全に関する講座を取り入れます。

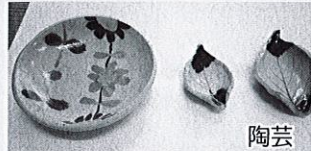
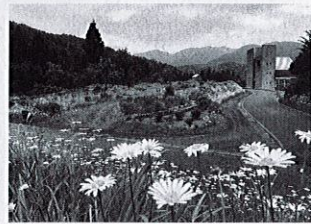
その他生け花、お茶、焼き物、英会話、テニスなどは一部募集中です。多くの方の参加をお待ちしています。



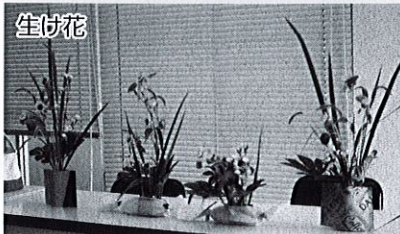
浅草山麓エコミュージアム



越後ハーブ香園入広瀬



陶芸



生け花



茶道

新館長紹介

コロナ禍での遠隔学習（オンライン講座）

中央公民館（堀之内） 大桃 明

私はこの四月、魚沼市中央公民館長（堀之内公民館長）を拝命いたしました。地域の皆様方の学習活動や生活文化事業の支援に少しでも役立つことができよう、職務に専念してまいりたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

魚沼市においても、残念ながら新型コロナウイルス感染症の対策上、各種の講座やイベントが相次いで中止または延期となっております。どうしても必要な場合は、十分な対策を講じて実施しておりますが、市民の皆様がご利用される場合もマスク着用や入出館時の手指消毒など諸々の注意事項の徹底をお願いしているところでありますので、引き続きご協力くださるようお願いいたします。

「コロナ禍の中で公民館活動が脆弱化している状況が露出してしまった」との指摘が、昨年の「月刊公民館」に掲載されておりました。施設が使用できない状況は公民館活動にとって大きなダメージとなりますが、公民館を施設としてのみ、とらえるのではなく市民の皆様が「学びの機会」を保障する拠点としてとらえ、そのためにどのような役割を果たせるかがあらためて問われていると考えております。

こうした中で、広神公民館では、県の「いきいき県民カレッジ」登録講座でもある新潟経営大学の公開講座と連携し、オンライン講座を計画しました。感染症の影響で学ぶ機会の減少に歯止めをかけ、多様な形態での学習の場を多くの皆様に提供する試みと理解しております。そして、このようなプランが実施されれば公民館活動に新たな光が当てられ、多様な学習形態が見えてくると期待しております。

このようにして、これからは遠隔学習（リモートスタディ）の構築をはかり、学びの選択肢を広げていく学習環境を整えていく必要があると考えております。

（生涯学習課長）

新職員紹介

地域活性化のために公民館ができること

中央公民館(堀之内) 主事 荒井 一匡

4月1日付で、生涯学習課の公民館担当となった荒井一匡と申します。よろしくお願ひします。

生涯学習課は以前も勤務していたので、公民館は身近な存在。わかった気になっていましたが、働きはじめてふと思いました。「公民館とは何だろう。」調べてみると、公民館は、市民のために様々な教育、学術及び文化に関する事業を行い、教養の向上、健康の増進、情操の純化をはかり、生活文化の振興、社会福祉の増進に貢献することを目的(社会教育法20条)とした施設。

この地で生まれ育った一人として、また一職員として、私の変わらぬテーマは魚沼市の「活性化」です。地域活性化には、まず市民一人ひとりが活性化しなくてはならない。そのための学びの場を提供するのが、公民館の役割。そう理解し、魚沼市が、そして市民が元気になるために公民館ができることを模索していきたいと思ひます。

よろしくお願ひします！

湯之谷公民館 主事 石田 彩夏

初めまして。地元は隣の市ですが、今年度の4月から縁あって湯之谷公民館の主事をさせていただくことになりました。小さい頃は自分もよく夏休み等に公民館で開催される色々な講座に参加したり、図書室に行って本を借りて読んでいたり、公民館には親しみがあります。社会人一年目で公民館での仕事以外にもわからないことばかりですが、湯之谷公民館が地域の皆様にとって親しみのある場所になったらいいなと思ひ、頑張ります。感染症の拡大防止のために予定されていた講座の延期や、利用の制限などご不便をおかけすることもあると思ひますが、新しくオープンした図書コーナーなどもありますので、ぜひ皆さんに足を運んでいただけたらと思ひます。



だんだんど〜も

山紫水明の小出は、その昔、小出小唄にもあるように「日本のベニス」と呼ばれていました。ところが先日、書店で外国映画のロケ地写真集を見つけてページをめくっていたら、「サウンドオブミュージック」の舞台であるザルツブルグの俯瞰写真が、小出の景観にそっくりでたまげました。そして、ここは「東洋のザルツブルグ」でもある、と認識しました。

小出は眺めも良いが、水もいいため食べ物がいまい。新幹線や高速道路があつて東京にもすぐ行ける。豪雪地で下田舎の在郷ではあるが、非凡なる平凡を有する超優良な街、スーパージェンントタウン。その快適さをノーマル(普通)と思つて暮らしている市民はもつとすごい。

ちなみに私は、森高千里の「渡良瀬橋」を「小出橋」に替えて歌うのが大好きです。

小出公民館長 八海 昭夫

表紙の👁️

湯之谷公民館の図書コーナーは旧湯之谷庁舎が装いも新たに湯之谷会館としてオープンした一角にあります。

現在、約一、七〇〇冊の蔵書があり、市内の図書館等とも連携されています。キッズコーナーも子どもたちを待っています。ぜひ、お立ち寄りください。

湯之谷公民館長 山田 順子

編集兼発行人 魚沼市中央公民館長 大桃 明